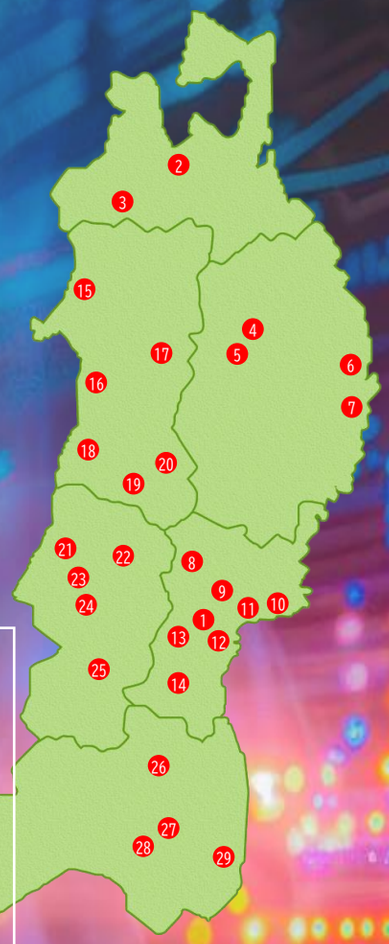
東北の未来をつくろう

地域の安全・安心を守り，活力を与え，豊かな暮らしを実現

東北地方整備局の組織

- 東北地方整備局
  - 防災室・災害対策マネジメント室
  - 総　務　部
  - 企　画　部 ― 施工企画課
  - 建　政　部
  - 河　川　部
  - 道　路　部
  - 港湾空港部
  - 営　繕　部
  - 用　地　部
  - 事務所・管理所



機械職員が働いている事務所

①東北地方整備局（本局）
②青森河川国道事務所
③岩木川ダム統合管理事務所
④北上川ダム統合管理事務所
⑤岩手河川国道事務所
⑥三陸国道事務所
⑦南三陸沿岸国道事務所
⑧鳴子ダム管理所
⑨鳴瀬川総合開発工事事務所
⑩北上川下流河川事務所
⑪東北技術事務所
⑫仙台河川国道事務所
⑬釜房ダム管理所
⑭七ヶ宿ダム管理所
⑮能代河川国道事務所
⑯秋田河川国道事務所
⑰玉川ダム管理所
⑱鳥海ダム工事事務所
⑲湯沢河川国道事務所
⑳成瀬ダム工事事務所
㉑酒田河川国道事務所
㉒新庄河川事務所
㉓月山ダム管理所
㉔最上川ダム統合管理事務所
㉕山形河川国道事務所
㉖福島河川国道事務所
㉗三春ダム管理所
㉘郡山国道事務所
㉙磐城国道事務所

■ **公務員試験に関すること**
人事院　東北事務局
TEL:022-221-2022　http://www.jinji.go.jp/touhoku/

■ **職員採用に関するお問い合わせ**
〒980-8602　仙台市青葉区本町3丁目3番1号　仙台合同庁舎B棟
東北地方整備局　企画部　企画課［内線3331・3332］
TEL.022-225-2171（代表）

＜機械関係に関すること＞
東北地方整備局　企画部　施工企画課［内線3452］

東北地方整備局　採用　検索





※地下鉄（南北線）勾当台公園駅北2出口より徒歩3分

機械職員募集

国土交通省
東北地方整備局

機械設備 ～設計・施工・維持管理～

河川や道路,ダムにおいて土木構造物と一体となって設置される各種機械設備の調査・計画,設計,施工及び維持管理を実施しています。



仕事の流れ

調査・計画

機械設備の導入や整備等の調査・計画を行います。



設計・積算

機能や費用等を検討して設計を行い,工事費用を算出します。



工事監督・検査

設備仕様・性能を満足するよう工事監督及び検査を実施します。



維持・管理

点検・整備を実施し設備を良好な状態に管理します。



機械設備のライフサイクル

整備・更新 → 工事発注 → 完成・運用 → 老朽化

私は白川ダムのゲート設備の維持管理を中心にダム管理に携わっています。誰かの当たり前の毎日を舞台裏で支える仕事です。日々の点検や整備を通じて,技術力と判断力が磨かれる仕事です。

技術者として誇りが持てる仕事です。大きな構造物を動かす面白さ,きっとハマりますよ！！



当たり前を守る!!
ダム管理の最前線

最上川ダム統合管理事務所
白川ダム管理支所　管理課
機械係長　菊池　永輝
（平成３１年入省）



河川機械設備

河川用ゲート設備


水門


河口堰

洪水や高潮による堤内地への氾濫浸水を防止するとともに,利水取水における流水制御のために設置される設備です。

河川用ポンプ設備


排水ポンプ

洪水時の内水位上昇に伴う浸水被害の軽減のため,河川又は水路の流水を排水する目的で設置される設備です。

ダム機械設備

ダム用ゲート設備


ダム


ダム用水門

ダム貯留水の取水・放流、流量調節等を目的に設置される設備です。洪水調節,流水の正常な機能維持,上水道,工業用水道,かんがい等の各種用水補給,発電等において重要な役割を担う設備です。

ダム管理設備


係船設備

ダム貯水池の巡視や作業で使用する巡視船や作業船を搬出,格納する設備です。
※他にも昇降設備,堤内排水設備などがあります。

道路機械設備

トンネル換気設備


ジェットファン


排風機

トンネル内で発生した火災時の排煙やトンネル換気に使用するための設備です。

※道路機械設備には、他にも消融雪設備、道路排水設備などがあります。

トンネル消火設備



消火設備

トンネル内で発生した火災を消火するために使用する設備です。

※他にも給水栓,水噴霧装置などがあります。

建設機械 ～機械の運用～

河川や道路を良好な状態を保つため,建設機械を導入し,運用しています。また,地域条件に応じた除雪機械を配備し円滑な冬期交通の確保を図っています。



仕事の流れ

購入計画
目的, 機能, 配備状況, 購入費用などを整理し, 必要性を検討します。

機械購入・配備
機械の購入手続きを行い, 配備します。


側溝清掃車

点検・整備
機械の機能を維持するため, 点検整備等を行います。



貸付・返納
委託業者に機械を貸与します。使用後は発注者に機械を返納してもらいます。

作業
委託業者が機械を使用して各種作業（点検, 清掃, 除雪等）を実施します。



老朽化

私は主に建設機械の維持･管理の業務を担当しています。山形河川国道事務所は東北地方整備局管内で最も多い, 約２００台の除雪機械を配備しています。
除雪機械の台数が多いため, 大変な事もありますが, 非常にやりがいを感じています。特に, 納入したばかりの建設機械を見られるのはこの仕事ならではだと思います。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



建設機械の安定的な運用をめざして

山形河川国道事務所 防災課
技官　柴田 陽
（令和６年入省）



河川･道路関係


河川パトロールカ

河川区域における異常発見や巡視等を行います。


草刈機


刈草梱包機

堤防の異常などの早期発見や強度維持のための堤防点検を行うための除草作業等を行います。


道路パトロールカ

道路を常時良好な状態に保つため巡視等を行います。



標識車

交通障害や災害時などの道路交通規制情報を表示して道路利用者に伝えます。


橋梁点検車

橋梁の点検及び地震等発生時の緊急点検を行います。


散水車


路面清掃車



トンネル清掃車

道路の機能確保,沿道環境の保全のため清掃を行います。他にも側溝や排水管を清掃する車両があります。

除 雪 関 係


除雪トラック

新雪除雪等を行います。


除雪グレーダ

新雪除雪や路面正整等を行います。主に圧雪除去に効果を発揮します。


除雪ドーザ


ロータリ除雪車

拡幅除雪や運搬排雪を行います。


凍結抑制剤散布車

路面の凍結防止ため,凍結抑制剤を道路上へ散布します。


雪庇処理車

トンネル坑口など高い場所に発生した雪庇除去等を行います。

災害対応 ～災害対策用機械の出動～

国土交通省の職員は,日常の業務やそれぞれ携わった現場で培った専門の技術力を持っています。
このような職員で構成されるTEC－FORCE(緊急災害対策派遣隊)が台風や地震などの大規模災害時に自治体の被災現場に出向き早期復旧に活動します。



TEC－FORCE(緊急災害対策派遣隊)

災害発生時など被害状況の迅速な把握, 被害の発生及び拡大の防止, 被災地の早期復旧などに取り組み, 地方公共団体を支援します。



東日本大震災

大規模災害等が発生した場合, 全国に配備されている各地方整備局の災害対策用機械を被災地に集結して対応にあたります。

東日本大震災では, 全国から２００台を超える災害対策用機械と多くのTEC-FORCEが派遣され, 被災地の復旧に向けた取り組みを実施しました。

令和６年能登半島地震

令和６年能登半島地震では, 東北地方整備局から被災地にTEC-FORCEや災害対策用機械を派遣しました。

機械職員はTEC-FORCEの「応急対策班(給水支援)」として活動し, 断水している地域住民への給水支援の他, 病院, 自衛隊入浴施設, ランドリーカー等にも給水支援も行いました。



能登半島地震では, 断水した被災地で洗濯用水などの給水を実施し, 被災者の生活を支援しました。
国土交通省はインフラ整備のイメージがありますが, 実はこうした身近な支援も行っていて, とてもやりがいを感じます。
国民を守る仕事一緒にしませんか！



被災者の生活に寄り添った災害支援を

東北技術事務所 防災･技術課
防災対策係長 佐々木 悠也
（平成１１年入省）
(現:企画部 施工企画課 事業調整係長)



主な災害対策用機械

国民の安全･安心な暮らしを守る



排水ポンプ車

河川氾濫,道路冠水等,現場に迅速に駆けつけ排水作業を行います。



照明車

被災現場における夜間作業・夜間監視のため,照明を照らします。



対策本部車(右)･待機支援車(左)



分解対応型遠隔バックホウ

無線操縦が可能なバックホウです。分解してヘリコプターで空輸することができます。



応急組立橋

被災による落橋や道路崩壊等の時,仮の道路機能復旧用として使用します。



対策本部車は,応急復旧対策を策定する現地対策本部として使用します。

待機支援車は,災害現地対応者の休憩･仮眠や情報収集等の復旧活動を支援する車両です。



防災ヘリコプター(みちのく号)

河川･道路等の維持管理を目的にした調査や災害時のTEC-FORCE隊員の派遣, 上空からの被災状況調査に使用します。



新技術 ～開発･活用促進～

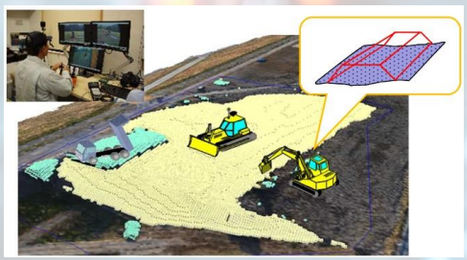
新技術の活用促進と新たな技術開発の活性化を図ります。

建設DX（デジタル･トランスフォーメーション）

国土交通省では、データとデジタル技術を活用して、社会資本や公共サービスを変革するとともに、建設生産プロセスの変革とそれを活用する人材育成等を実施し建設業界の働き方改革を実現する、「インフラ分野のDX」を推進しています。

（事例）

ＡＩ搭載建設機械による自動施工



自動化，自律化施工により建設現場を省略化

パワーアシストスーツ等人間拡張技術を活用した施工



パワーアシストスーツを活用したガレキ撤去（イメージ）

東北インフラDX人材育成センター

建設生産プロセス（測量･設計，施工，維持管理）におけるインフラDX推進に向けた人材育成を図るため，発注者及び受注者に対する3次元データ･デジタル技術の知識習得を目的としています。



人材育成ルーム

3次元ＣＡＤの操作を習得することができます。



シミュレータブース

除雪グレーダやバックホウの運転操作を学習することができます。



DX･プレゼンルーム

大型モニターや電子黒板を活用した学習，遠隔臨場による出来形確認の訓練等ができます。



XRブース

ＶＲ（仮想現実）やMR（複合現実）の映像を用いて各種構造物の学習ができます。

他にも様々な施設があります。

- 体験型土木構造物実習施設
- 体験型河川堤防等実習施設
- ＵＡＶ訓練施設
- 無人化施工エリア

DX

技術開発（一部紹介）

河川や道路事業の施工効率化，省力化，安全性向上等を図るため，建設機械と施工に関する調査，技術開発に取り組んでいます。

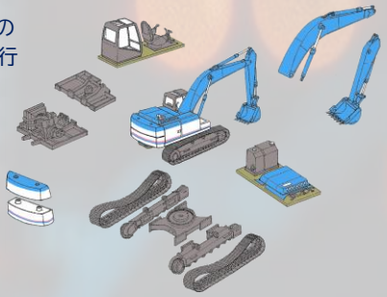
分解対応型バックホウの開発

陸路で運搬不可能な災害現場へ，空輸･現地で組立可能なバックホウを開発

■開発経緯

平成20年に発生した岩手宮城地震では，被災箇所への進入路が寸断され，陸路での重機運搬が不可能となりました。このため，ヘリコプターによる空輸での重機運搬を行いましたが，当時における国内最大の空輸が可能な対応型バックホウは0.5m³級であったため，迅速な復旧作業を行うには能力が不足しました。

分解組立てが可能な
大型バックホウ（1.0m³級）を開発





バックホウの操作は，搭乗操作と遠隔操作（リモコン）の両方が可能です。



簡易に分解･組立ができます。



ヘリコプターで部品を空輸します。

雪庇処理車の改良

リサイクル工場用の機械を改良し，雪庇処理車（雪崩防止に使用）として導入

■導入経緯

雪崩被害の抑制には，積雪斜面や道路構造物などに形成される雪庇，防護柵裏に堆積した雪の定期的な除去（除雪）が重要な作業となります。

管内の雪庇除去作業では，ロングリーチ仕様のホイール式油圧ショベルをベース車両として，専用バケットを装着させた雪庇処理車を導入（平成7年）し，一般交通への影響を最小限に抑えながら安全かつ効率的な雪庇除去作業を実施してきました。

しかし，排出ガス規制の影響によりベース車両の製造･販売が終了したことで，老朽化の進んだ機械の更新が大きな課題となっていました。



雪庇処理車（旧型）
ベース車両が製造中止

新たな
雪庇処理車を導入



雪庇処理車（新型）



ＯＪＴ ～人材育成～

機械関係業務の研修やセミナー等を実施し,知識向上を図っています。また,災害対策用機械を使用して実践に近い訓練等を行い,災害対応の技術力強化にも努めています。

私は機械職員のリクルートを担当しています。機械業務は専門的な業務内容となりますが,基礎から最新の知識や技術を幅広く習得できる研修やセミナーを受けることができます。機械を専攻していなくても人材育成が充実しているので心配はいりません。
多様な人材が持つスキルや発想を持ち合って,機械業務をより高めていきたいと考えています。機械に魅力を感じたら迷わずドアを叩いてください。待ってます！

充実の研修で心配は無用！
機械に魅力を感じたらＧＯ
企画部 施工企画課
課長補佐　今野　孝親
（平成１５年入省）



機械（機械設備・建設機械）の研修

機械設備や建設機械等に関わる基礎的知識及び最新技術等を取得させ,資質の向上を図ります。



機械業務に関わる知識を習得する講義



3次元データを活用したICT建設機械の体験

危機管理（機械）エキスパート講習

災害対応時の指導的役割を担う,「災害対策用機械技術指導員」の技術力維持と更なる災害対応能力の向上を図ります。



災害対応に関わる知識を習得する講義



遠隔操縦式バックホウの操作訓練

機械関係スキルアップセミナー

若手の機械職員（新規採用から2年程度,社会人採用者）を対象に,機械関係業務で必要となる基礎的知識を早期に習得し,円滑な業務運営が行えるよう基礎技術力の向上及び若手相互のコミュニケーションを図ります。



設備点検に関する実地講義



設備故障の対応方法に関する実地講義

ブロック研究会

機械及び電気通信関係業務に携わる職員が抱える課題解決に向け,意見交換等を実施しています。研究会は各県ごとに開催しており,機械職員と電気通信職員が合同で参加しています。



ポンプ設備更新工事の視察



ダム放流設備工事の視察